



BALLADE SPORTS CR-X



BALLADE

バラードスポーツCR-X 1300・1500 新登場

さまざまなライフスタイル、価値観が花咲く時代の中で、クルマは、もっと個性的なスタイルとキャラクターをもつべきだ。2人のクルーザー、バラードスポーツCR-X。新世代のFFライトウェイتسポーツの幕開けを告げる時がきた。「Man-Maximum,Mecha-Minimum」すなわち人間のためのユーティリティ・スペースは最大に、メカニズム・スペースは最小に、という、ホンダの次代の設計フィロソフィと、先進のテクノロジーがつくりあげた、まさにスポーティな走る生き物だ。100%新設計エンジン、スタイリング、サスペンション、インテリア——すべての革新メカニズムが高密度に凝縮された。駆れ、走る楽しさ、走る歓び。2人の自由のために。



PHOTO:1.5iサンルーフ仕様車(アルミホイール+6Dタイヤ装着車) フェンダーミラー装着車も選べます。

新世代へ。FFライトウェイトスポーツ



風がデザインした。エアロライナーシェイプ

STYLING

空気は厚い壁だ。だから、空気に逆らわず、できるだけ自然流でありたい。

バラードスポーツCR-Xは、クルマを6面体としてではなく、ひとつのマッス(塊)としてデザイン。

空気との対話の中から、レジスタンス・ミニマムに走れるフォルムをつくりだした。

ホンダが提唱してきたトータルエアロダイナミクスの結晶、エアロライナーシェイプ。自然なフォルムは、美しい。

空前の空力フォルム。

トータルエアロダイナミクスの結論

実質的な空気抵抗は、 $C_d \times A$ （空気抗力係数×前面投影面積）でありたい。空気抗力係数 C_d は0.33。この世界のトップレベルの数値に加え、 $C_d \times A$ に至っては、限界値に近い0.56をマークしている。また高速走行時の安定性を決定する揚力、ヨーイング・モーメントなども徹底追求。ホンダが主張するトータルエアロダイナミクス思想を貫いている。これらトータルな空力特性を追求するために、①エンジンなどの主要コンポーネンツを新設計。低ボンネットを実現。②フラッシュサーフェス接着ガラス、サッシュレスドア、インテグラル・ドアハンドルなどにより、ボディ全体をフラッシュサーフェス化。空気との対話から生まれたエアロライナーシェイプ。バラードスポーツCR-Xは、キューで個性的なウェアを身にまとった。

空気抗力係数×前面投影面積 $C_d \times A: 0.56$

空気抗力係数 $C_d: 0.33$ 揚力係数 $C_L: 0.20$

ヨーイング・モーメント係数(ヨーアンブル特) $C_{Ym}: 0.03$

空力に貢献する

セミリトラクタブル・ヘッドライト

低ボンネットラインと面一化するセミリトラクタブル・ヘッドライト。空気抵抗の削減に貢献している。



TOTAL AERODYNAMICS



エアロスカート一体

*H.P.BLENDとは、HONDA POLYMER BLENDの略。
高剛性、耐久性をもつ新素材。

大型H.P.BLENDバンパー+ロアアスカート(1.5i)

新素材H.P.BLEND*を採用した大型バンパーは、ダイナミックな印象をともに、軽微なショックを吸収し、美しいフォルムをガードする。またバンパ一体のエアロスカートは、ボディ下部にもぐりこむ気流を整流し、揚力を抑える。その上、揚力抑制効果と精悍さを増幅するロアアスカートまでも装備(1.5i)。前輪の接地性を高め、パワーの伝達効率を増大させている。

曲線美が光る
三次元曲面ペンドガラス



空気がスムーズに流れる

フロント・リア 紋りこみフォルム

フロントノーズおよびリアサイドに強い紋りこみを行ない、シャープネスを際立たせている。

バラードスポーツ
CR-Xは、軽量かつ耐久性に富む肉体を与えられた。

鋼板の感触に近い「H.P.ALLOY」*ボディを採用。フロントマスク、ヘッドライトフラップ、フロントフェンダー、ドアアガーニッシュ、サイドシルガーニッシュに採用し、大幅な軽量化とタフネスを達成している。ちなみにパワーウェイトレシオは7.27kg(1.5i)(^{1/4}マイルレース仕様車)。

カタパルトを飛びだすジェット機のような加速性が堪能できる。*HONDA POLYMER ALLOYの略。軽量、耐チッピング性、耐衝撃性、防錆に富む新素材。

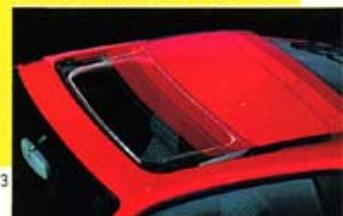
C_d 向上に威力。

クラウチングヒップテール

世界初、

電動アウタースライド・サンルーフ(1.5i/1.6i)
(ルーフは有料)

アウタースライドレールなしにサンルーフが、ルーフの上をスライドする独創メカ。ナイスルッキングに加え、前後席のヘッドクリアランスがたっぷりどれ、キャビンにゆとりを生む。もちろんチルトアップ機構もつき、ベンチレーション効果は、絶大。新感覚のオープンエアモータリングを満喫してほしい。



12バルブ・クロスフロー 新パワーユニット

ENGINE

SOHCエンジンの究極に挑み、パワーを最大に引きだし、メカニカルロスを最小に抑えたハイパワー&コンパクトの100%新設計12バルブ・クロスフローインジン。ホンダ独創のPGM-FI採用の①⑤。新開発アルミキャブレター採用の①③。そして、新B.C.トーチ型燃焼室——ホンダの先進テクノロジーから生まれたスーパー・メカニズムが鮮烈なパワーを爆発させる。

最適空燃比をリアルタイムに。

ホンダオリジナルPGM-FI (1.5i)



あのホンダF-1にも採用されているホンダオリジナルPGM-FI(燃料噴射システム)を、①⑤に採用。①センサー(コム、エンジン回転数と吸気マニホールド内の空気圧の2つを検出し、燃焼噴射量を算出する「スピードテンシティ方式」)を採用。タイムラグが極めて少ない。②制御部には、高精度な「8ビットデジタルコンピューター」を採用。プログラムマップが何枚も組みこまれ、噴射量をキメ細かくコントロールする。フェルセーフシステムも内蔵。③噴射部には、「4気筒順次噴射方式」を採用。各シリンダーの点火順序にあわせ、ジャストタイミングに噴射する。減速時の燃料カットも低回転域まで可能。欲しいパワースポンスと低燃費が両立された。



吸気慣性効果を最大利用。

等長インテークマニホールド (1.5i)



①⑤新エンジンでは、吸入効率にすぐれる等長インテークマニホールドを採用。吸入抵抗の少ない4本の独立した等長ポートで、吸気慣性効果を最大限に生かすために、膨大な組み合わせの中から350mmのロングポートに設定された。

排気脈動を極限まで生かしきつた

4-2-1-2スーパーイキソーストシステム (1.5i)



F-1、F-2のレーシングテクノロジーで磨き抜かれた4-2-1-2スーパーイキソーストシステム。クランク同位相のシリンダーのエキソーストを集合し、さらに1本に束ね、デュアルエキソーストでフィニッシュする。このように排気脈動の効果をフルに引き出すことにより、全域の出力を高めた。

12-VALVE CROSS FLOW NEW ENGINE

1.5i: MAX. POWER 110 PS/5,800 r.p.m. MAX. TORQUE 13.8 kg-m/4,500 r.p.m.

1.3: MAX. POWER 80 PS/6,000 r.p.m. MAX. TORQUE 11.3 kg-m/3,500 r.p.m.

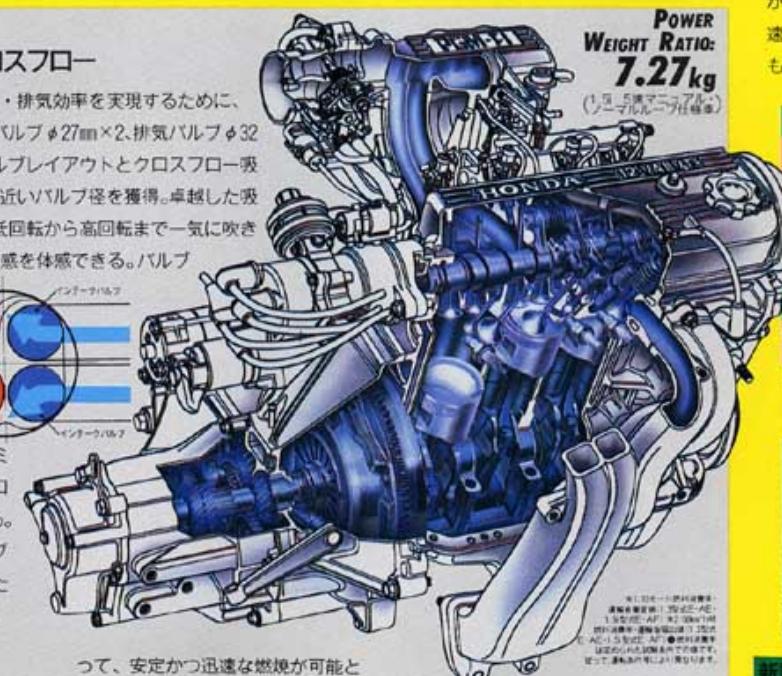
Fuel Economy 1.5i ^{15.0} 10 mode ^{26.0} 1.3 ^{20.0} 10 mode ^{33.0}

吸・排気効率のドラマ。

4気筒・12バルブ・クロスフロー

新エンジンでは、最大級の吸・排気効率を実現するために、ボア寸法φ74mmの中に吸気バルブφ27mm×2、排気バルブφ32mm×1を配置。ユニークなバルブレイアウトとクロスフロー吸・排気方式によって、極限に近いバルブ径を獲得。卓越した吸・排気効率が実現された。低回転から高回転まで一気に吹きあがり、まさにリニアな加速感を体感できる。バルブ

スプリング
スキンシール
リードバルブ
エンドバルブ
スリーブ
等ビッチ
チを採
用。高回転でもバルブタイミングがずれず、胸のすくスロットルレスポンスが得られる。4バルブ並の性能を2バルブ並のコンパクトさで実現したアドバンスト・エンジンだ。

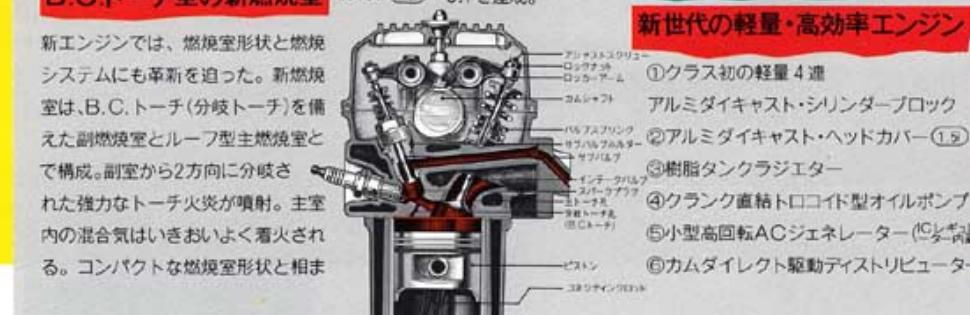


燃焼効率を向上。

B.C.トーチ型の新燃焼室

新エンジンでは、燃焼室形状と燃焼システムにも革新を迫った。新燃焼室は、B.C.トーチ(分岐トーチ)を備えた副燃焼室とルーフ型主燃焼室とで構成。副室から2方向に分岐された強力なトーチ火炎が噴射。主室内の混合気はいきおいよく燃焼される。コンパクトな燃焼室形状と相ま

って、安定かつ迅速な燃焼が可能となつた。この結果、圧縮比は①③ = 10.0、①⑤ = 8.7を達成。



新素材、新技術を駆使。

新世代の軽量・高効率エンジン

- ①クラス初の軽量4速
- アルミダイキャスト・シリンダーブロック
- ②アルミダイキャスト・ヘッドカバー①⑤
- ③樹脂タンククラジエター
- ④クランク直結トロコイド型オイルポンプ
- ⑤小型高回転ACジェネレーター(①⑤内蔵)
- ⑥カムダイレクト駆動ディストリビューター

新開発

アルミダイキャストキャブレター (1.3)

大幅な軽量コンパクト化を実現。低ボンネットとともに、高出力と低燃費がもたらされた。とくに高速クルーズ時の実用燃費もすぐれ、特筆に値する。



燃費向上。

ACジェネレーターコントロールシステム (1.3)

着火良好。
半沿面スパークプラグ

ロックアップ機構付

ホンダマチック3速フルオート(オーバードライブ) (1.5i)

爽快なスポーツ走行をフルオートで満喫してほしい。①⑤レンジのままで、発進から、オーバードライフレシオによる3速の高速走行までを自動変速。3速でロックアップし、新エンジンの圧倒的パワーをダイレクトに伝達。パワフルな加速とレスポンスを発揮する。

新設計ロックアップ機構付

ホンダマチック(オーバードライブ) (1.3)

「オートマチックの理想」といわれる無段変速によるなめらかな加速で、定評のあるホンダマチック。新たに加えたロックアップ機構は、①⑤スタートレンジと②③オーバードライフレシオとも中速域からロックアップが作動。第一級の静かさと燃費を獲得している。



マキシマムの走りを支えるスポルテック・サス

究極の姿勢制御をテーマとしたスタビリティあふれるフットワーク。そして、ハイウェイでは矢のような直進性が与えられる。ハイレベルなスポーティ・ランに求められる卓越したマヌーバアビリティを実現したサスペンション・コンポーネンツ。「スポルテック・サスペンション」。この絶妙のコンポーネンツが、FFでの新しいピュアスポーツの走りを生みだす。

SUSPENSION

FF 前輪駆動
FF16年・800万台達成
GK04A FF車専用エンジン エクセレントドライビング

スポルテック・サスペンション。

トーションバー・ストラット式フロントサス

「マン・マキシマム、メカ・ミニマム」の追求。そして究極の姿勢制御をめざして、ホンダが導きだした結論。それがトーションバー・ストラット式フロントサスペンション。ホンダのアイディアは、ストラット高を低くするために、スプリングにトーションバーを採用。ダンパーからコイルスプリングを除去した。ダン

パー・マウント位置を大幅に下げることで、
あの極端に低いボンネットラインを実現
した。同時に独特のレイアウトにより、
スペース効率、乗り心地を
向上させている。



FRONT

安定した制動姿勢。

アンチタイプ・ジオメトリー

制動直進性を確保

ネガティブオフセット・ ジオメトリー

直進性を足すフィット。

フロント・ベンチレーテッドディスクブレーキ(1.5)



直進性を高め、ハンドルの運転を良好に。 ハイキャスタートレール(1.3)

SUPER MANEUVERABILITY

マヌーバアビリティ(運動性能)を発揮するベストコンポーネンツ

マキシマムの走りを支える足は、どうあるべきか。ハイウェイでは直進性にすぐれ、ワインディングロードでは俊敏な回頭性を示し、驚異的なスタビリティを発揮する。しかも乗り心地は快適。ホンダはこれらのエレメントを集約し、ベストコンポーネンツにチャレンジした。それが「スポルテック・サスペンション」。フロントはトーションバー・ストラット式、リアはトレーリングリンク式ピーム。しかも高速クルーズ時のポテンシャルを高めるために、絶妙の各種ジオメトリを追求。ハイレベルな足を具現している。

FRONT: SPACE ORIENTED REACTION-TUBE TORSION-BAR TECHNOLOGY SUSPENSION

スペース効率を追求した
リアクションチューブ式
トーションバーを使った
テクノロジーによる
フロントサスペンション



REAR: SPACE ORIENTED RESPONSIVE TRAILING-LINK TECHNOLOGY SUSPENSION

スペース効率を追求した
応答性の高い
トレーリングリンク式
テクノロジーによる
リアサスペンション

フットワーク重視のスクエア・ディメンション

超ショートホイールベース=2,200mm、ワイドトレッド=前1,400mm、後1,415mm。これはレーシングマシンのスクエア・ディメンションに、より接近した数値だ。しかも重心高は低い。こうした基本レイアウトによって、卓越した走行安定性、俊敏なハンドリング特性が達成された。

パワー伝達効率を向上。

トリポート型等速ジョイント+一体中空ドライブシャフト

FFの発展は、ドライブシャフトの進化で決まる、といえるほど重要なポイント。ホンダFF16年のキャリアは、独創のトリポート型等速ジョイントを生みだし、これを一貫生産。しかも一体中空ドライブシャフトの採用で、防振性を大幅に向上させている。



スポルテック・サスペンション。

トレーリングリンク式ピーム・リアサス

FF車の運動性能は、リアサスペンションのもつボテンシャルによって大きく左右される。ホンダは、高速直進性、接地性、限界性にすぐれる独創的なトレーリングリンク式ピーム・サスをつくりあげた。これはピームアクスルにより、路面に対しタイヤをつねに垂直に保持。リアおよびフロントのコーナリング限界を飛躍的に向上させた。さらに、ころがり抵抗の低減に加え、ワイドタイヤの性能をあまさずに引きだす。



REAR

サイドフォースに強い

ニュートラルステア・ジオメトリー

バールロッドをアクスルセンター上に配置しているため、サイドフォースステアは極少。しかもピームアクスルの採用により、ニュートラルステアを実現している。

リアの

アンチリフト効果を実現

制動時の姿勢を安定させるために、トレーリングリンクにブレーキの

バックプレートを結合。すぐれたアンチリフト効果を生みだしている。

リアにロール応答性をぐぐる

低圧ガス封入ダンパー

剛性と剛性を両立。ホンダ独自の
一体構造モノコックボディ

超一体空間。スペイシャス・キャビン

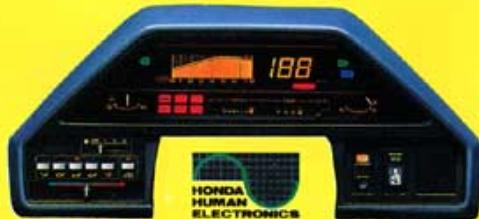


PHOTO:ヨシ サンルーフ仕様車(デジタルメーター、エレクトロニック・ナビゲータ装着車)アドリブ時

視認性にすぐれる

トライアングル・メーターバイザー

必要な運転情報を正確に伝えるために、トライアングル・メーターバイザーを採用。メーターバイザーを低位置にレイアウトし、両サイドをハの字型にカット。しかもメーターを奥に配置することにより、視認性を高め、少ない視線移動での読み取りを可能にしている。



高級サルーン並の静かさ。

100km/hクルーズで67.0dB*(1.5)

* Aスケール・室内中央騒音値100km/h走行・5速マニュアル車当社値

コンパクトなボディだから、キャビンもコンパクトだろうと思うと、見事に裏切られる。「マン・マキシマム、メカ・ミニマム」という、基本フィロソフィを貫くことにより、ビッグで開放的なキャビンを創造した。流れのような超一体感が広がるスーパーインテグレーテッド・デザイン。ホンダのスポーツスピリットと、先進テクノロジーが随所に息づく。走ることの歓び、操縦することの興奮が全身をかけめぐることだろう。

パノラマスクリーン感覚の

ラップラウンド・スラントインパネ

路面を読む。最適なコースラインを予測する。良好なビビリティのために、バラードスポーツCR-Xでは低いボンネットの成果を生かして、25°に傾斜したスラント・インパネを採用。低いトライアングル・メーターバイザーと相まって、パノラマスクリーンのような広角視界を確保している。しかも大きくラップラウンドしているため、圧迫感が少なく、快適なコクピットスペースを実現している。

タイムコントロール・モジュール付

エレクトロニック・ナビゲータ

(1.5) サンルーフ仕様車に装着車を設定

デュエットクルージングの歓びをさらに高めるドライブ情報システム、エレクトロニック・ナビゲータ。通常はデジタル時計。そしてマイコン内蔵によって、消費燃料、平均燃費、平均車速、走行距離の4つの情報をダイレクト表示する。さらに新機構の残燃料表示がある。また、これにはタイムコントロール機能も内蔵。フロントワイパーのパリアブル間けつ(インターバルは3~15秒)、リアワイパー間けつ、ウォッシャー連動ワイパー(3回作動)、残光式ルームランプ、サイドブレーキ戻し忘れ警報…と5つの便利な機能を備える。

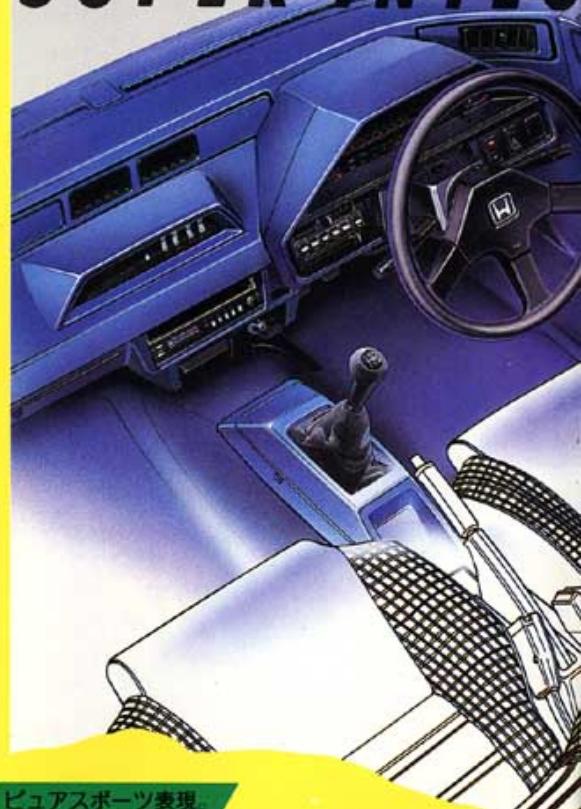


●各表示はキーを押した後、5秒間表示し、後に時計表示に戻る。(2秒以上押し続けるとホールドされる)

80.0 km/h	368.0 km	15.0 km/h	6.0 l
平均車速(左)――リセット 後の平均車速を表示。ト後の走行距離を表示。 平均燃費(右)――リセット 後の平均燃費を表示。ト前の10km平均燃費を表示。 消費燃料――リセット 後の燃費を表示。燃費料金を10kmで計算すると、1km単位でフリーアップとともに表示。			



SUPER INTEG



ピュアスポーツ表現。

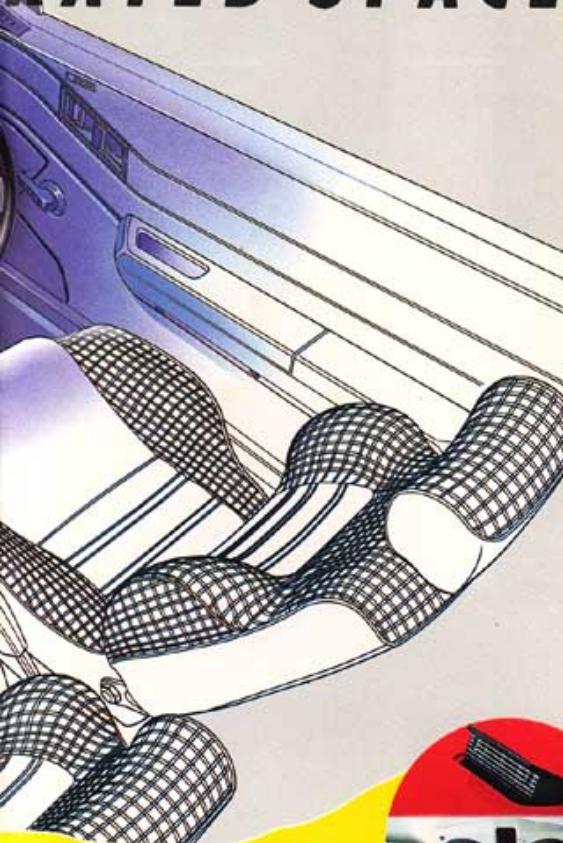
オーバルシェイプ・ステアリングホイール



スポーティな3本スポーク。小径で極太360×370mm。手にしつりとなじむ。視覚的な圧迫感が少なく、5mmのオフセットセンターによって、乗降性も向上させている。

INTERIOR

RATED SPACE



軽く触れるだけ。クラス初の
タッチスイッチ式
ヒーターコントロール



ユースフルなワンタッチアクション機構(ミスト)付
回転式ワイヤースイッチ



タイトなホールド性。

スポーティ・パケットシート

デュエットクルーザーにふさわしく、スポーティな走行感をダイレクトに感じていただくために、ドライビングポジションは思い切って下げられた。ペダルと同位置にまで低く設定されたヒップポイントは、地上から420mm。路面をなめるように走るスーパースタビリティ感覚が湧う。そしてファンクショナルなコクピットにしつらえたスポーティ・パケットシート。高く盛り上げたサイドサポートによって、タイトなホールドを得る。強烈な横Gにも、身体はホールドされる。15mmピッチ、180mmのワイドな前後スライド、2°ピッチの微調整リクライニングによって、余計なデバイスなしに誰にでも理想のドライビングポジションが得られる。



新鮮感覚の

ルーフベンチレーション(①②ルーフベンチレーション仕様)

航空機のように天井から新鮮なエアシャワーが降り注ぐ。キューでユニークなオーバーヘッドスタイルのルーフ・ラム・ベンチレーション。風量は2段切替え式。だから、コクピットにはいつも爽快感があふれ、快適なデュエットクルージングを楽しめる。

マニアックな迫力サウンド。

本格オーディオシステム(注文装備)

音感人生の好みにあわせてグレードアップできるよう、電子チューナー式AMラジオ+1スピーカーを標準装備。そしてフロントに12cm×2、リアには16cm×2のスピーカーが装着可能。リアスピーカーは前席へ向けてマウントできる。



PHOTO: (1)サンルーフ(2)ドア・デジタルメーター、エレクトロニック・ナビゲーション装着車

便利なワンタッチ起立式。

1マイル・リアシート

2人+αで乗らなければならない時のために。1マイルくらいの走行なら、着座OKというエマージェンシーシートを用意。シートバックを起こすだけの手軽さ。

緊急時自動ロック装置付

フロント3点式ELRシートベルト



ロングクルージングが楽しい。

大容量ラゲッジベース

スポーツカーといえば、ほとんどが申し訳程度のラゲッジスペースしかもない。しかし、パラードスポーツCR-Xは、2名乗車時で310ℓ*、4名乗車時で164ℓ*という異例にワイドなスペースユーティリティを備えている。

*ECE基準によるホンダ測定値



胸、高鳴るスポーツバディ

EQUIPMENT

セミコンシールドワイパー



良好な視界に加えて、空力効果も高い。(1.5)は問合付。

フラッシュサーフェス・ウィンドウ



ボディ面とガラス面の段差は、3 mm。大気は後方へとスムーズに流れる。

フットレスト



スポーツ走行の必須アイテム。ロングクルーズ時代の左足の定位位置。(1.5)

サッシュレスドア



ガラスエリアが広く、開放感に富む。フラッシュサーフェスに寄与。

サイドアミスター



ドア上部のエアグリルからの風によって、サイドウインドウの曇りを取り除き、側方視界を確保する。

デュアルエキゾーストパイプ



ライトウェイトスポーツにふさわしい低周波の野性味あふれるエキゾーストノート。マフラーカッター付。(1.5)

ダブルリンク・リアワイパー(1.5)+電熱線入りリアウインドウ・デフォッガー



リアワイパーは国産車初のダブルリンク式。抵抗面積が広く、空力的にもすぐれる。またリアウインドウ・デフォッガーは、降雨時などのウインドウの曇りを取り去る。

60シリーズタイヤ+
14インチアルミホイール

グリップ性能にすぐれる185/60R14がアルミホイールとマッチング。(1.5)にセットで装着車を設定。(サンルーフ仕様車除く)



70シリーズタイヤ+
13インチアルミホイール

スポーテック・サスと絶妙のマッチングを見せる70シリーズタイヤ。シャープなデザインの軽量アルミホイールとの組み合わせ。(注文装備)

ホットラインアップ

1.3&1.5i



PHOTO: 1.3サンルーフ仕様車
フェンダーミラー装着車も選べます。

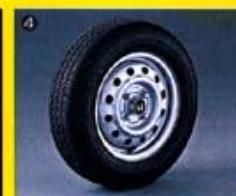
アーバンライフを
ファッショナブルに乗りこなす。 1.3



サンルーフ仕様車



サンルーフ仕様車



①電子チューナー式AMラジオ、透明付灰皿&シガーライター②コインポケット③フロント・ディスクブレーキ④165/70SR13スチールラジアルタイヤ



PHOTO: 1.5サンルーフ仕様車
フェンダーミラー装着車も選べます。

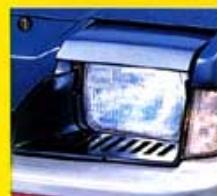
自由の道へ
ハイウェイ・クルージングの楽しさを、さらに。 1.5i



サンルーフ仕様車(デジタルメーター、エレクトロニック・ナビゲータ装着車)



サンルーフ仕様車



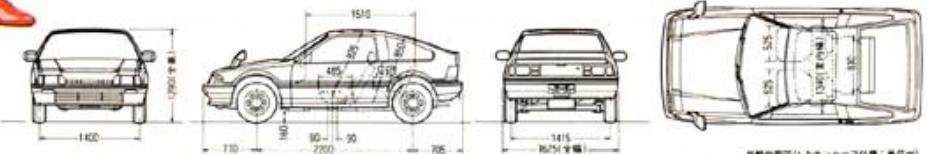
①ハロゲン・ヘッドライト②ダブルリンク・リアワイパー(ウォッシャー付)③ロアスカート④175/70SR13スチールラジアルタイヤ(5速マニュアル)・
165/70SR13スチールラジアルタイヤ(3速フルオート)

EQUIPMENT



SPECIFICATIONS

*1 ナノマテリアル技術。ナノマテリアル技術は75nm、ナノマテリアル技術は30nm。
*2 ナノマテリアル技術。ナノマテリアル技術は100nm、ナノマテリアル技術は80nm。
*3 ナノマテリアル技術。ナノマテリアル技術は100nm、ナノマテリアル技術は80nm。
※通常消費電力量による表示は通常の電源環境を想定して算出しています。
※耗材寿命は、実際の使用試験結果によるものであります。実際の使用条件によっては、異なる場合があります。



万葉の歌詞(セイノカワフタリ)卷二



全国ネットのカーディーラー
〈ホンダベルノ〉からお届けします。



HONDA  **VERNO**

本社 〒150 東京都渋谷区神宮前6-27-8 TEL03(499)0111
東京支店 〒150 東京都渋谷区神宮前6-27-8 TEL03(498)3251
名古屋支店 〒460 愛知県名古屋市中区千代田1-7-2 TEL052(261)2671

大阪支店 〒530 大阪府大阪市北区南堀町7-31 TEL06(313)1111
九州支店 〒812 福岡県福岡市博多区祇園町8-7 TEL092(291)5131
仙台支店 〒980 宮城県仙台市土蔵町1-1-2 TEL0222(25)5171

北海道支店 〒060 北海道札幌市中央区北一丁目西7-1
TEL.011(251)9231

本カタログの内容は昭和58年9月現在のものです。